

大学生活とキャリア意識の向上を支援する CC 手帳の開発とその効果

伊藤 征嗣*・岡 浩平*・田中 健路*・内藤 望*

(平成25年10月31日受付)

Development and Assessment of the Pocket Book for Campus Life and Career Consciousness

Seiji ITO, Kohei OKA, Kenji TANAKA and Nozomu NAITO

(Received Oct. 31, 2013)

Abstract

The aim of this study is to develop and assessment the CC pocket book in order to improve Campus life and Career consciousness for our students. The CC pocket book can be various things; setting life and study goals, schedule management, reading jobs information of our department, and so on. Moreover, we have researched utilization of the CC pocket book for about a year. As the result, users rate of CC pocket book have been decreased over time, but over half of students have been using it over about a year from distribution. Therefore, we have shown effectiveness of the original pocket book for the students.

Key Words: Campus life, Career Consciousness, CC Pocket Book

1. はじめに

学生が将来の夢や目標を意識して生活することは大切であり、それを達成するには初年次から卒業までを視野に入れたスケジュール管理やポートフォリオの利活用が重要である。スケジュール管理ツールとして他大学では PDA (Personal Digital Assistants) やポートフォリオを意識した独自の手帳を配布している。本学でも初年次教育としてキャリアデザイン I 等の講義での教育・指導, Gmail の付加機能であるカレンダー機能が提供されている。しかし, PDA は高価であり配布が難しく, PDA を所持していない学生には Web コンテンツによる指導も困難である。そこで, ポートフォリオを意識した独自の手帳の発行はスケジュール管理だけでなくポートフォリオのツールとして常時携帯が可能となる。さらに, その手帳に就職情報等を付加することで, 初年次からキャリア意識を向上も図ることも期待できる。

そこで, 本研究は地球環境学科の学生が充実した生活を

過ごすためのツールとして, 4 年後を見据えた予定を組める CC (Campus life and Career) 手帳を発行・配布し, 個々の学生の生活目標を計画・実践できると同時にスケジュール管理能力とキャリア意識を向上させることが目的である。特に, 地球環境学科の学生は就職業界が一つに定まっておらず多様である。そのために, 学内他学科と比較して, 学生が志望企業を絞るまでに時間がかかる特徴がある。このことから, 本学科は他学科以上に初年次から徐々にキャリア意識を培い業界研究を早くに始める必要がある。そのためにも, 学科独自の教育や様々な活動を初年次から理解させ, 地球環境学科の学生として十分意識して過ごすことが大切である。そこで, 本学科の情報を豊富に掲載した CC 手帳はそのツールの一つであると考えている。さらに本研究では, 配布 1 年後の利用状況ならびに手帳の効果を検証する。

2. 他大学の事前調査

まず, CC 手帳を開発するために他大学の調査を行っ

* 広島工業大学環境学部地球環境学科

た^{[1]-[4]}。その事例について下記にまとめる。

● 東京電機大学情報環境学部^[1]

この手帳はB6サイズの手帳で月間スケジュール帳である。4年間使える手帳となっており、スケジュールページには各月10行程度のコメントが付加されている。そのコメントはその学年のその月に適したコメントが書かれてある。

● 昭和女子大学^[2]

この手帳は一年間分の手帳であり、A6サイズより少し大きく、非常に分厚くなっている。これは月間と週間のスケジュール帳が含まれていることが原因の一つであるが、PDCAサイクルを意識させるための記入項目が豊富であることから頁数が多くなっている。例えば、短・中・長期的な目標記入欄、達成度、反省・感想、今後の課題についての項目だけでなく、その目標を定めるためのイメージ図の記入欄などがある。その他にも、学生にとって有益な情報が豊富に掲載されている。

● 京都精華大学^[3]

この手帳も一年間分の手帳であり、A6サイズである。月間スケジュール帳と大学生活を送るための注意事項、施設地図や大学学則の一部などが掲載されている。

● 比治山大学^[4]

この手帳はルーズリーフ式であることが他大学と大きな違いである。サイズはポケットサイズで月間スケジュールのみであるが、大学生活や就職活動についての情報が掲載されているだけでなく、レポートの書き方や発表の仕方などスタディスキルに関する内容も掲載している。

3. CC手帳の内容

本研究で開発するCC手帳は当然ながら学生にとって便利で使い易いものが望ましい。さらに、第一章で述べたように、充実した学生生活ならびにキャリア意識を向上させるためのツールを目指す。また、前節で述べた他大学の事例を参考に手帳の開発を行う。

検討の結果、CC手帳は4年間継続して利用できるよう、中身の取捨選択が容易なルーズリーフ式のものを作製する。さらに、常時携帯できるよう、持ち運びに便利なポケットサイズのものを作製することにした。

表1は主なコンテンツを示す。その中から独自性の高いコンテンツについて下記に詳説する。また、これらの実際のコンテンツを本稿の末尾に付録として掲載したので、こちらも参照されたい。

① 表紙など

CC手帳の表紙に本学の建学の精神、教育方針、HIT四つの行動を記載し、これらの言葉を日頃から閲覧できるようにした。また、表紙の裏頁にHIT四つの行動について各学生が考える具体的な行動を書く欄を設けた。

表1 CC手帳の主なコンテンツ

① 表紙など
② 入学目的、年間目標、自己発見レポート記録欄など
③ 月間スケジュール・各学年各月のアドバイス
④ 教育課程表と各種資格要件対応表
⑤ 資格試験一覧、卒業生の就職先一覧
⑥ 21, 24号館配置図
⑦ 各教員連絡先一覧、便利なサイト集など

② 入学目的、年間目標、自己発見レポート記録欄など

入学目的、年間目標などはHIT-Student^[5]のものを参考にした。また、自己発見レポート結果記録記入欄を設けた。これは1年次開講のキャリアデザインIで実施されているもので、設問に回答することで大学生活の目標設計や自己理解に有効な結果が学生に返却されるものである。この情報を返却された時だけしか確認しないことから、本手帳に書き写すことで普段からそれを閲覧できるようにした。

③ 月間スケジュール・各学年各月のコメント

スケジュール帳は月間のものを作成し、その中には学年暦に示されている主要な行事も書き込んだ。枠外にはHIT-Studentを参考に月間目標や達成度とその理由を記入する欄を設けた。さらに、学生にとってその月に気を付けて欲しいことや知っていて欲しいことを各学年異なったアドバイスを記載した。これは自分に該当する学年のアドバイスだけでなく高学年のアドバイスも見ることによって来年以降の計画や心構えを持つことができ、非常に有益であると考えている。各月のアドバイスは付録に掲載するが、これは後述する第二版で掲載した内容である。第二版では教員だけでなく学生からのアドバイスのものもある。このように、アドバイス欄はCC手帳の中でも学科特有の情報が一番掲載されており、他の資料にはない特別な情報である。

④ 教育課程表と各種資格要件対応表

これらの表はそれぞれ別にまとめられていたが、本手帳ではそれらを一つの表にまとめて見やすくした。各種資格とは本学科で要件を満たせば取得することができる資格であり、高校教諭免許（理科・情報）、測量士補ならびに自然再生士補を指す。

⑤ 資格試験一覧、卒業生の就職先一覧

キャリア意識を高めてもらうために、本学科の学生が目指せる資格試験とこれまでの卒業生の就職先一覧を掲載した。

⑥ 21, 24号館配置図

本学科の施設配置図を設け、各教員の研究室やゼミ室、実験室の場所を知ってもらい、教員への質問や就職資料室など学科の施設を再認識してもらうことが狙いである。

⑦ 各教員連絡先一覧、便利なサイト集など

各教員の電話番号やE-mailアドレスなどを掲載した。

さらに、学内の連絡先一覧も掲載した。さらに、本学で提供している Web サービスを認知してもらうことも兼ねて URL ならびに QR コードを掲載した。Web サービスは hitweb、図書館ページや就職部学内ページなどを掲載し、スマートフォンからも学内専用サイトも閲覧できるよう、VPN の使い方も掲載した。

最後に、実際に作製した CC 手帳の外観を図 1 に示す。



図 1 作製した CC 手帳

4. 指導とアンケート結果

H24 年度後期開始時期である H24 年 9 月 24 日に CC 手帳の初版を 1 年次生のみ配布した。さらに、第二版として H25 年度版を発行し、1・2 年次の新入生・在生ガイダンスに配布した。また、定期的な指導を行い、アンケート調査も実施した。アンケート調査はすべて記名式とし、下記に示す日程で 3 回実施し、利用状況の把握と今後の改善点の調査、さらに、学生への指導を兼ねて行った。他にも、使用した感想や改善を問う質問も行った。

● 第一回目

実施日時：平成 24 年 11 月 26 日
回答数：67 名（対象学生 75 名）

● 第二回目

実施日時：平成 25 年 1 月 21 日
回答数：70 名（対象学生 75 名）

● 第三回目：

実施日時：平成 25 年 7 月 23 日
回答数：65 名（対象学生 73 名）

この 3 回のアンケート調査は H24 年度入学生を対象として実施しており、H25 年度入学生にもアンケート調査を行っているが、H24 年度入学生と類似した調査結果が得られているため、本稿では掲載を省略する。

4.1 利用状況に関する設問

第一回目のアンケートの設問 1 として、これまでにスケ

ジュール帳を所持していたか否かの質問をした。その結果、すでに所持している学生が 52%、所持していない学生が 48% であった。また、3 回のアンケート全てで CC 手帳の利用状況について調査を行った。その結果を図 2 に示す。第一回目と第三回目の利用者数は 35 名と同数で第二回目が 47 名と一番高い利用率となっている。さらに、表 2 は個人の利用変化を集計したものであり、3 回全てのアンケートに回答した学生 60 名を対象としている。この表の上段 3 段は現在も使用している学生のうち継続性が見られる学生であり、中段 3 段は途中で使用を中止した学生とみなせる。下段の 2 段は継続して使用していないもしくはアンケート回答時の気分によって回答した可能性が高いと判断できる。この結果から継続して使用している学生が 28 名（約 47%）であることから、約半数の学生はこの 1 年間 CC 手帳を持続的に活用しており、今後も継続利用の可能性が高い。

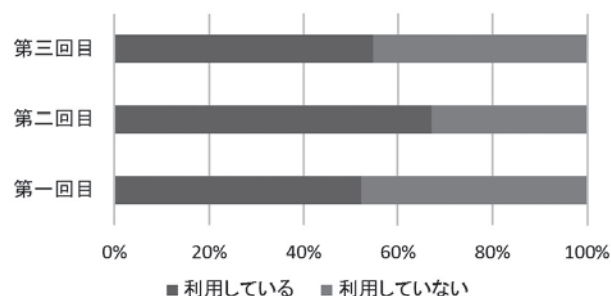


図 2 CC 手帳の利用状況

表 2 利用状況の変化 (n=60)
○：利用している ×：利用していない

第一回目	第二回目	第三回目	人数 (名)
○	○	○	21
×	○	○	6
×	×	○	1
○	○	×	7
○	×	×	1
×	×	×	15
○	×	○	4
×	○	×	5

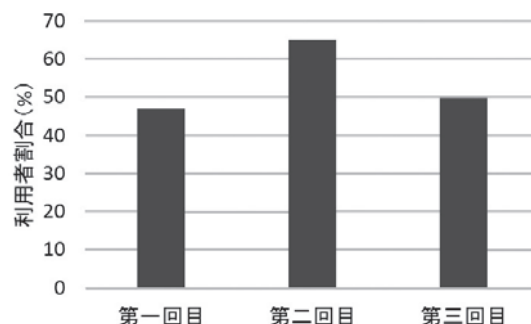


図 3 手帳未所持の学生の利用者人数

これまでに手帳を所持していない学生のみ限定して利用状況を集計したものを図3に示す。この図から未所持の学生のうち、約半数の学生はCC手帳によってスケジュール管理の意識が芽生えさせることができたといえる。

4.2 利用効果に関する設問

図4は学業面、生活面、就職面においてCC手帳が役に立ったか否かの設問結果である。ただし、この設問は利用期間がある程度経過した第二回目と第三回目のアンケート時のみに設けた。この図から、全体的に半数以上が少なくとも役に立ったと回答している。さらに、一年次よりも二年次のほうが役立ったことが分かる。特に、就職面においては当初の目的であった初年次からキャリア意識を持たせるという意味では一定の効果があったといえる。

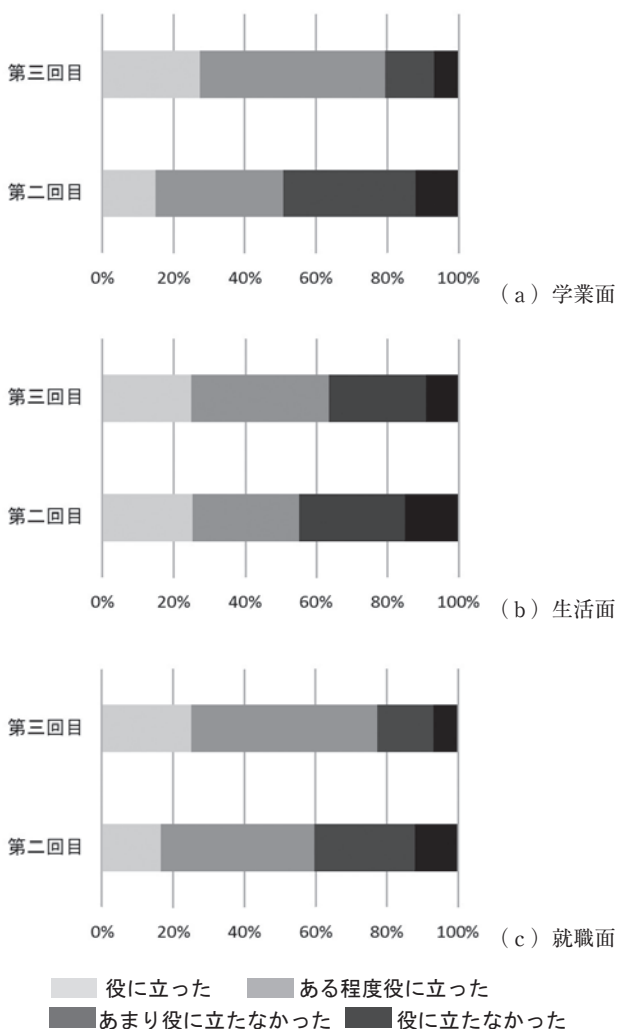


図4 CC手帳が役に立ったか否かの設問結果

4.3 第三回目アンケート結果

最後に、すべてのアンケートに今後CC手帳を利用したいかという設問項目を設けた。その結果を図5に示す。この図から、相当数の学生がCC手帳は有益なツールである

と理解しているといえる。

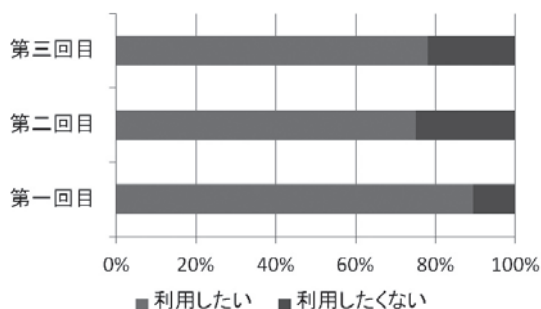


図5 今後CC手帳を利用したいか

4.4 自由記述欄および考察

これまでのアンケートについて、CC手帳の感想や改善点などを自由に記述する設問を設けた。その結果の一部を抜粋する。まず、肯定的な記述を示す。

- ・使いやすい
- ・CC手帳は無くてはならない存在になった
- ・学科特有の情報が載っていて使いやすい
- ・利用したら良いとみんなが言うから利用したい

つぎに、否定的な記述を示す。

- ・自分の手帳（もしくはスマートフォン）のほうが便利
- ・サイズが小さい、カバーが貧弱で壊れやすい
- ・自分には意味がない

このように、賛否両論あるが概ね好意的な意見を持つ学生が多かった。特に、学科特有の情報が掲載されていて便利であったことがCC手帳の目的と合致している。さらに、就職先一覧から気になった企業を調べた学生も存在し、当初の目的である地球環境学科の学生としての自覚やキャリア意識の向上が図られたといえる。これらのことから、CC手帳の目的は概ね達成したといえる。

一方で、否定的な意見が多かったのが、スケジュール欄が狭く使いづらい、カバーのリングが壊れやすかったりしたことが欠点である。学科単位で作製したものであるため、コスト的な制限をせざるを得なかった。これを全学的なツールとして作製した場合はコスト的な制限はある程度軽減できると考えられる。しかし、学科特有の情報がなくなり、学生にとって有益な手帳にならない恐れがある。

5. おわりに

本研究では学生の生活やキャリア意識の向上のために学科独自のCC手帳を作製し、学生に配布した。そして、約1年間の利用状況を調査した。その結果、時間の経過による利用率の減少はあったものの半数以上の学生が何らかの形で利用していることがわかり、中には、無くては困る学生も存在していたことが分かった。以上から、オリジナルの手帳は学生にとって有益であることを示唆した。

今後も引き続き CC 手帳の発行を行い、追跡調査を行う。

また、H25 年度から就職部で3年次生を対象とした全学的な手帳を発行されているが、これは就職活動に特化した手帳である。第一章で述べたように、本学科の学生は初年次から徐々にキャリア意識を培う必要があることから、学科特有の情報を掲載したオリジナル手帳の配布は今後も引き続き重要であると考えている。

謝 辞

本研究は広島工業大学プロジェクト教育開発センターで遂行したものです。昭和女子大学と比治山大学には丁寧な説明や資料のご提供をして頂いたことに厚く御礼申し上げます。また、他大学の事例を提供頂いた本学都市デザイン工学科今川朱美先生、各種情報を提供して頂いた学務部、就職部や総務部に深く感謝申し上げます。最後に、CC 手帳に関して多くのご協力を頂いた当学科教職員に厚く御礼申し上げます。

参考資料

- [1] 東京電機大学情報環境学部, 「CAREER POCKET BOOK」(2008)
- [2] 昭和女子大学, 「DREAM 手帳」(2011)
- [3] 京都精華大学オリジナル手帳 (2005, 2006, 2007)
- [4] 比治山大学, 「HIJYAMA 手帳」(2011)
- [5] 広島工業大学, 「HIT-STUDENT (2011 年度版)」

広島工業大学 地球環境学科 CC 手帳

— Campus life and Career —

■ 建学の精神

「教育は愛なり」

■ 教育方針

「常に神と共に歩み社会に奉仕する」

■ HIT 四つの行動

「一、可能性を信じて一歩前に踏み出す行動」

「一、仲間に支えられ、仲間を支え、
そして仲間となる行動」

「一、モノ・おこないの終極に
思いをめぐらす行動」

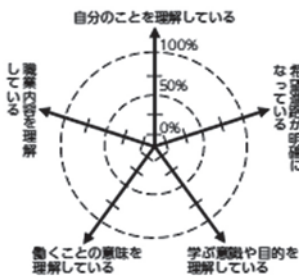
「一、人の道、良心に従った行動」

学生 番号		氏名	
----------	--	----	--

(A) 表紙

2013年度 自己発見レポートの結果記録

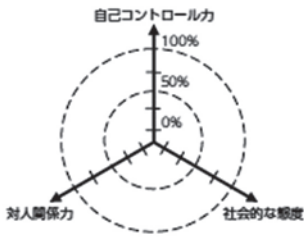
進路に対する意識



基礎学力

	得点	平均点
英語運用	/	
日本語理解	/	
判断推理	/	
合計	/	

社会的強み



あなたの強みは何ですか？
 またそれを伸ばす方法を記述しましょう。

あなたの弱みは何ですか？
 またそれを克服する方法を記述しましょう。

職業への興味

診断結果はあくまで一つの参考として、必要以上にとらわれ過ぎないようにしましょう。

診断結果ではどのような職業に向いていましたか？	
なりたい職業は何ですか？	
今後どのように気を付ければ良いでしょうか？	

(B) 自己発見レポート記入頁

地球環境学科 教育課程表・各種資格要件対応表

区分	系別	修習状況	授業科目	開講時期	卒業要件 単位数	各種資格要件																				
						高校教諭一種																				
						理	科	情	報	自然																
必修	選択	自由	必修	選択	選択	選択	選択	選択																		
教 育 基 礎 科 目	専 門 専 門 教 育 基 礎 科 目		自校教育論	1年前期	1																					
			初年次セミナー	1年前期	1																					
			キャリアデザインⅠ	1年前期	1																					
			キャリアデザインⅡ	2年前期	1																					
			キャリアデザインⅢ	3年前期	1																					
			社会倫理	1年後期	1																					
			人権論	2年前期	1																					
			総合英語Ⅰ	1年前期	2				2			2														
			総合英語Ⅱ	1年後期	2																					
			特別英語A	2年前期	2																					
			特別英語B	2年後期	2																					
			科学技術英語A	3年後期	2																					
			生涯スポーツA	1年前期	2				2			2														
			生涯スポーツB	1年後期	2																					
			健康とスポーツの科学	3年前期	2																					
			ヨーロッパ文化論	2年後期	2																					
			ドイツ学入門	2年前期	2																					
			科学技術史	3年後期	2																					
			日本語表現	1年前期	2																					
			法と現代社会	2年後期	2																					
			日本国憲法	3年後期	2				2			2														
			読書紀行	1年後期	2																					
			瀬戸内の環境と文化	2年後期	2																					
	環境化学	3年後期	2																							
	インターンシップ	3年後期			2																					
	英語コミュニケーションⅠ	3年前期	2																							
	科学技術英語B	4年前期	2																							
	中国語	1年後期	2																							
	情報技術基礎	3年後期			2		2			2																
	環境情報概論	1年前期	2																			2				
	環境共生概論	1年前期	2																					2		
	地球科学概論	1年前期	2				2																	2		
	地圏の科学	1年前期	2				2																	2		
	大気水圏の科学Ⅰ	1年前期	2				2																	2		
	生物圏の科学	1年後期	2				2																	2		
	基礎生物学	1年前期	2				2																	2		
	環境基礎化学	1年後期	2				2																	2		
	基礎物理学Ⅰ	1年前期	2				2																	2		
	基礎物理学Ⅱ	1年後期	2					2																2		
	環境数理基礎	2年前期	2																			2		2		
	情報処理基礎Ⅰ	1年前期	2																					2		
	情報処理基礎Ⅰ演習	1年前期	2																					2		
	情報処理基礎Ⅱ	1年後期	2																					2		
	解析基礎Ⅰ	1年前期	2																					2		
	解析基礎Ⅰ演習	1年前期	2																					2		
	線型代数	1年後期	2																					2		
	線型代数演習	1年後期	2																					2		
	解析基礎Ⅱ	2年前期	2																					2		
	数理統計	1年後期	2																					2		

(D) 教育課程表と各種資格要件対応表

2013年 4月

※1 専修 既履からの一貫した進路を積極的に作りましょう。オリゼは進路を作る良いチャンスです。
 ※2 専修 2年生からバイク通学が可能です。大学の許可を得て安全運転で通学してください。

MON	TUE	WED
1	2	3
8	9	10 入学式
15	16	17
22 新入生受検開始	23	24
29 受講料正納付	30	
31		

月間目標

※3 専修 自分の興味と分野の専門性を合わせて考え、行きたいゼミを決めよう。
 ※4 専修 いよいよ大学最終年度。成績表と卒業要件をもう一回確認し、間違いのないよう申請を。

THU	FRI	SAT	SUN
4	5	6	7
11 新入生ガイダンス	12 新入生・在学生ガイダンス	13 旧留年ガイダンス	14
18 在学生受検開始	19	20	21
25 新入生受検開始	オリゼ生(休学)	オリゼ生(休学)	28
	26	27	
		受講料正納付	

達成度
 達成できた ある程度達成できた
 あまり達成できなかった 達成できなかった

理由

(C) 月間スケジュール頁

チューター 氏名		
オフィスアワー	(前期)	(後期)

■ 地球環境学科教職員

分野	職名	氏名	研究室	電話番号 (ダイヤルイン)	電子メール ID
環境情報	教授	大倉 博	21-310	921-5462	hohkurax3
	教授	菅 雄三	21-109	921-9406	ysugami
	教授	小黒 剛成	21-315	921-9407	yoguro.yx
	准教授	伊藤 征嗣	21-407	921-7424	sitoh.us
環境共生	教授	今岡 務	24-404	921-9429	timaoka.er
	教授	松島 治	24-303	921-9423	omatsushima.sh
	助教	岡 浩平	21-408	921-9145	k.oka.gw
地球科学	教授	内藤 望	21-410	921-9402	nnaito.h2
	准教授	田中 健路	21-409	921-9426	k.tanaka.pb
教養教育	准教授	金 凡性	21-412	921-9405	bkimuyi
	助教	西村 一樹	21-413	921-9413	knishimura.s7
学科事務			21-314	921-9432	

* 電話番号の市外局番はすべて 082

* 電子メールアドレスは、電子メール ID の後に @it-hiroshima.ac.jp を付ける。

■ 各種窓口

大学代表電話		921-3121
学務部	学生担当	921-4179
	教務担当	921-4178
就職部		921-4184
学生相談室 (カウンセラー)		921-6049
災害時対応電話		921-9129

■ 休講・補講に関する情報

<http://www.jim.it-hiroshima.ac.jp/gakumu/kyuho/khall.asp> (PC)

携帯電話からは、右の QR コードで確認。1 週間分の情報が掲載。

それ以降の休講・補講情報は掲示板で確認すること。



(E) 連絡先一覧

■ 便利なサイト集

■ hitweb (VPN でアクセス)

出席状況などが閲覧できます。

<https://hitweb.it-hiroshima.ac.jp/>



■ 図書館ページ (一部 VPN でアクセス)

このページのリンクをたどると、本の所在が検索できたり、購入して欲しい図書のリクエスト、さらに、電子図書も無料で読めたりするので、是非利用しましょう。

<http://www.it-hiroshima.ac.jp/institution/library/>



■ 就職部学内ページ (VPN でアクセス)

求人情報はもちろん、インターンシップや教員・公務員志望者への情報など、低学年にも有益な情報が多く載っています。是非アクセスして情報収集しましょう。

<http://www.it-hiroshima.ac.jp/shushoku/zaigk/>



※VPN の利用方法 (パソコン、携帯からでも VPN 接続は可能です。)

VPN は学内 PC のみに限定したサイトを携帯や学外 PC からでも閲覧できるサービスです。また、VPN を利用すると、サイトだけでなく学内限定のネットワークサービスも利用できます。

1. <https://vpn.hirokoudai.jp/> に接続
2. Username にログイン名
Password にパスワードを入力
3. 右上のブラウザ欄に閲覧したい URL を入力 (コピペ) し、ブラウザボタンを押せば閲覧可能



(F) 便利なサイト集

付録2 各月のアドバイス

4月	1年	【先輩からの一言】友達を積極的に作りましょう。オリゼミは友達を作る良いチャンスです。
	2年	2年生からバイク通学が可能です。大学の許可を得て安全運転で通学してください。
	3年	自分の興味と分野の重要性を合わせて考え、行きたいゼミを決めよう。
	4年	いよいよ大学最終年度。成績表と卒業要件を今一度確認し、間違いのない履修申請を。
5月	1年	5月30日は「ごみゼロの日」。分別すればごみは資源に。
	2年	インターンシップへの積極的参加を。事前説明会もあります。
	3年	実習演習科目を通じて、講義で得た知識を実践に活かす力を付けよう。
	4年	社会は広い。自分の視野を広げれば、新たな進路の可能性が見えてくるかも。
6月	1年	数学・英語・物理の疑問は、教育学習支援センターで解決しましょう。
	2年	HIT チャレンジなど新しいことにチャレンジしましょう。
	3年	6月は環境月間です。自分にできる環境を考えてみよう。
	4年	内定を得て進路が決まったら、ゼミ教員と就職部への報告を忘れずに。
7月	1年	【先輩からの一言】月末には前期末試験が始まります。ノートをしっかりと取って試験に臨みましょう。
	2年	計画を立てる習慣を身につけましょう。徹夜して勉強した！と言うことが恥ずかしいことだと思えるように。
	3年	4年次進級を視野に入れ、試験・レポートに丁寧に取り組もう。
	4年	大学院進学を希望している学生は、ゼミの先生とよく相談しましょう。
8月	1年	ボランティアや資格試験に取り組むなど夏休みの宿題は自分で設定しよう。設定した宿題は月間目標に書こう。
	2年	夏休みは海外留学など長期休暇にしかできないことにチャレンジするのも良いでしょう。
	3年	幅広く情報を収集し、企業・業界・社会全体の動向を深く研究しよう。
	4年	卒業研究の観測や実験は、夏季休業中が稼ぎどき。計画的に進めよう。
9月	1年	9月は防災月間で1日は防災の日。各自でできる防災を考えよう。
	2年	後期が始まります。他大学の単位互換制度の活用も視野に入れてみては？
	3年	ゼミの先輩とのコミュニケーションを深め就職や研究について学ぼう。
	4年	いよいよ最後のセメスター。学生時代に悔いを残さぬよう、全力投入を！
10月	1年	困ったことや悩みがある場合は、一人で抱え込まずチューターの先生に相談しましょう。
	2年	勉学の秋です。環境系や情報系の資格、TOEICの勉強などに手掛けるのもよいでしょう。
	3年	就職情報サイトのエントリーを忘れずに登録しよう。
	4年	卒業研究の中間発表をしっかりと準備しよう。残された期間に取り組む課題を明確に。
11月	1年	オフィスアワーを活用して、わからないことは先生に積極的に質問しよう。
	2年	工大祭の時期です。積極的に参加して思い出を作るのもいかがでしょうか？
	3年	長所や得意分野などを分析し、自己アピールのスキルを高めよう。
	4年	社会人としての基本「ホウレンソウ」を実践していますか？
12月	1年	図書館を積極的に活用して、レポートの作成や予習・復習に取り組みましょう。
	2年	環境に携わる人間として、今冬は省エネを実践してみましょう。
	3年	本格的な就職活動のスタート。常に先手打ちの姿勢で取り組もう。
	4年	もうじき社会人となるに当たって、学生気分から脱却し、何事にも責任を意識しよう。
1月	1年	【先輩からの一言】正月が終わるとすぐに後期末試験です。気を抜かずに勉強に励もう！
	2年	大半が成人式を迎えますね、おめでとう！これからは責任ある行動を心がけましょう。
	3年	論文などの学術的な文献を読み、研究テーマを決めよう。
	4年	卒業研究は、思い通りの結果、予想外の結果に関わらず、自分の言葉で総括することが成果です。
2月	1年	時間を有効に活用して、旅行や読書などで自分の感性を磨きましょう。
	2年	この春休みは業界研究をしながら自分の将来について熟考する時期です。
	3年	先輩の卒業研究の成果発表を聴こう。また、合同企業説明会もあります。
	4年	卒業研究最終発表をはじめ、学生時代の総決算。うっかり忘れていないことがないか、しっかり点検を。
3月	1年	PDCA サイクルにならって2年生をスタートしましょう。
	2年	適性検査（SPI）の問題に取り組む素早く的確に解く練習をしよう。
	3年	履歴書添削や模擬面接、就職部など就活支援を最大限に活用し、悔いのない活動を。
	4年	卒業おめでとう！広島工業大学 地球環境学科の卒業生として、自信と誇りを持って、新たな飛翔を！